

しらすぎ

しらすぎ保育園
VOL53 NO.3
(通巻 626号)

<http://www.sirasagi-hoiku.com/>

コロナと熱中症対策の夏

園長 秋保めぐみ

新型コロナウイルス感染症流行後初めての夏を迎え、気温の上昇とともに熱中症のリスクも高くなってきました。特に子どもたちは大人より地面に近く、少し活動をする地熱によりすぐに顔が真っ赤になります。こまめな水分補給と休息を取りながら熱中症予防をしていきます。また、マスク熱中症という言葉を目にするように、マスクの中に熱がこもり熱中症になるリスクが高くなります。職員もコロナ対策でマスクが必需品ですが、熱中症の予防もしなくてはなりません。7月から、園庭にいるときはマスクを外し、屋内ではマスクをして保育をするといったように、新型コロナウイルスと熱中症両方の対策を進めていきます。

とにかくこの夏は、子どもも大人も安全に乗り切ることを第一に考えます。

ミニトマト育てています!! (3.4.5才児が毎日交替で水やりをしています。)

「お水は土にかけてあげないと」と物知りで友だちに教えます。(ばら組4才児)

保育者が「これがミニトマト」と何度も繰り返し言っているうちに「トートー」と言うようになりました。(もも組1才児)

「大きくなあれ」「おいしくなあれ」「赤くなあれ」と水やりをしながらおまじない♪(すみれ組3才児)

まだ青いトマトを見て「あれ?」「みどり」と不思議そう。(さくら組2才児)

「いっぱいトマトがなった」「黄っぽい色に変わってる」と報告がたくさん。ミニトマトの成長に興味津々。(ゆり組5才児)



「ゆり組は写生をしました。」
「ここにたくさんミニトマトがなっている」「葉っぱはザラザラでペラペラだ」と顔を近づけて観察したり、茎や葉っぱを何度も触ったりしながら丁寧に描き、絵の具で色を塗って仕上げました。

今月の弁当日
7月15日(水)

7月のテーマ「夏のおそびを楽しもう」

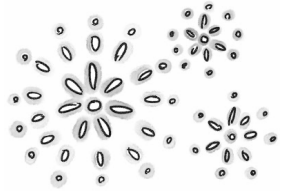
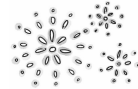
新型コロナウイルスと熱中症、双方の予防対策をしながら過ごす今年の夏。密を避け、こまめな水分補給と適度な休息を心がけ、各クラス工夫し、水あそびや泥んこあそび、しらすぎまつりなど夏のおそびを楽しむ。
*7月は全クラス統一のテーマです。

しらすぎまつり

例年、全クラス一斉に色々なあそびのコーナーを次々にめぐって楽しんでいたしらすぎまつり。今年は新型コロナウイルス対策として各クラスで行います。

日程

- 7月13日(月) ゆり組
- 7月14日(火) ばら組
- 7月15日(水) すみれ組
- 7月16日(木) さくら組
- 7月17日(金) もも組



《金魚すくい》
紙製のポイを使って何匹すくえるかな?年少児は破れないポイを使って楽しめます。



《ボーリング》
みんなが好きなキャラクターやマークがついたピンを倒します。年長児向けに倒れにくい工夫も。

《ワニワニパニック》

ゲートから出てくるワニにうまくタイミングを合わせてハンマーで叩きます。



《魚釣り》

磁石のついた竿で魚を釣りあげます。



小さなエコ活動 副主任保育士 小田嶋幸恵

7月1日からスタートしたレジ袋有料化。何気なくもらって便利に使っていたレジ袋。色々なサイズがあり、家の中を見回すとゴミの処理だけでなく様々なところに使用しています。でもプラスチックの過剰な使用は今世界中で問題になっています。子どもたちの将来のためにできることは何かを考えて、今までのライフスタイルを変えていきましょう…。まずは、マイバック持参から!

<編集後記>

新型コロナウイルスの影響で色々な行事が中止になるなか、毎年行っていた手形アートや泡あそび、水風船、的あてなど園庭全体を使ったダイナミックな水あそびも今年は全クラスでは行えません。それでも子どもたちに普段の保育では出来ない夏ならではの水あそびを楽しんで欲しいと思い、各クラスごとになりますが、水あそびでの色々なコーナーあそびを今考えています。子どもたちが喜んでくれると嬉しいです。(森)

<今月の担当：小田嶋幸恵・中村由希・森友美>